

日本化粧品学会

第37回 教育セミナー プログラム

シワのサイエンス ～成因から改善アプローチまで～

ご挨拶

今年の教育セミナーは「シワのサイエンス～成因から改善アプローチまで～」と題して、11月22日にヤクルトホールで開催されます。今年は、昨年「乾燥による小ジワを目立たなくする」という新規化粧品の効能効果が承認されたことに合わせ、シワをテーマにプログラムを組みました。ただし効能効果が認められたからと言って、すぐに製品に結びつくわけではありません。例えば日本化粧品学会の化粧品機能評価法ガイドラインでは、浅いシワからかなり深いシワまでを対象とした評価法になっていますが、乾燥によるシワを評価するにはどのレベルのシワを、どのようなパラメータで評価すれば適切なのかについては検証されていません。そこで、今回は「シワの成因から改善アプローチまで」との副題のもとに、我が国の第一線で活躍している8人の先生に講演をお願いしてあります。

最初に光医学の第一人者である名古屋市立大学の森田明理先生にシワの成因を、環境因子をからめて講演していただきます。ついで化粧品に「乾燥による小ジワを目立たなくする」という効能が認められたことから、皮膚の保湿メカニズムを資生堂の平尾哲二先生をお願いしてあります。ついで力や変形など力学的視点からみたシワ形成のメカニズムを名古屋工業大学の松本健郎先生に講演していただきます。

昼食を挟んで午後からは、東京藝術大学の宮永美知代先生にネガティブなイメージがあるシワとミゾについて、生体観察と美術表現の双方から探っていただきます。ついで、化粧品機能評価法ガイドラインに沿ったシワ改善剤の開発の話を花王の八谷輝先生から、またサンスクリーン剤によるシワの予防について、カネボウ化粧品の松江浩二先生から講演していただきます。

その後休憩を挟んで、東京工科大学の正木仁先生に、抗老化素材について、特にシワに焦点を絞ったレビューをしていただきます。最後に、既に医療行為として巷ではシワ治療が盛んに行われていますが、その第一人者である神田美容外科形成外科医院の征矢野進一先生に、美容外科的しわ治療最新情報と題して講演をお願いしてあります。

今回のセミナーが、「乾燥による小ジワを目立たなくする」という新規化粧品の開発に役立っていただければ望外の喜びです。多数のご参加をお待ちしております。

学術委員長 渡辺晋一

開催日：2012年11月22日（木・祝前日）

会場：ヤクルトホール *アクセスは最終ページの地図をご参照ください
〒105-8660 東京都港区東新橋 1-1-19 (TEL.03-3574-7255)

開場：9：30 開演：10：00

参加費：会員 15,000円（予約 13,000円）
非会員 20,000円（予約 18,000円）
学生 2,000円（当日のみ・要旨集代含・要学生証提示）

* ご所属が賛助会員の場合、個人で会員でない方でも会員と同じく
15,000円（事前予約の場合には13,000円）でご参加頂けます。

* 参加費には要旨集代が含まれています。

日本化粧品学会 第37回教育セミナー プログラム

10:00~10:05	開会挨拶	委員長 渡辺 晋一 (帝京大)
-------------	------	-----------------

10:05~10:50		座長 江藤 隆史 (東京通信病院)
	1. 環境因子とシワ	
		森田 明理 (名古屋市立大学大学院医学研究科 加齢・環境皮膚科)
10:50~11:30		座長 坂巻 剛 (カネボウ化粧品)
	2. 皮膚の保湿メカニズム	
		平尾 哲二 (株式会社資生堂リサーチセンター)
11:30~12:15		座長 芋川 玄爾 (中部大)
	3. シワ形成のバイオメカニクス	
		松本 健郎 (名古屋工業大学 機械工学科 バイオメカニクス研究室)
12:15~13:20	— 昼休み (参加費に弁当代は含まれません) —	
13:20~14:05		座長 菅沼 薫 (エフシージー総研)
	4. シワとミゾの美術解剖学	
		宮永 美知代 (東京藝術大学大学院美術教育 (美術解剖学II) 研究室)
14:05~14:45		座長 松本 克夫 (ポーラ)
	5. 化粧品機能評価法ガイドラインに則ったシワ改善剤の開発	
		八谷 輝 (花王株式会社 生物科学研究所)
14:45~15:25		座長 翠川 辰行 (ライオン)
	6. サンスクリーンによるシワの予防	
		松江 浩二 (株式会社カネボウ化粧品 スキンケア研究所)
15:25~15:40	— 休憩 —	
15:40~16:25		座長 西山 敏夫 (東京農工大)
	7. 抗老化素材のレビュー	
		正木 仁 (東京工科大学 応用生物学部)
16:25~17:10		座長 増永 卓司 (コーセー)
	8. 美容外科的しわ治療最新情報	
		征矢野 進一 (神田美容外科形成外科医院)

17:10~17:15	閉会挨拶	副委員長 松本 克夫 (ポーラ)
-------------	------	------------------

環境因子とシワ [森田 明理 先生]

老化した皮膚の特徴として、粗造で乾燥した表面、シミ・くすみ、シワ・たるみなどがあげられ、これらは内在性および外因性の因子で誘発される。内在性とは年齢によるものであり、外因性とは環境からくるもので、紫外線、喫煙や、さらに最近では大気汚染が因子として考えられている。これら環境因子による皮膚老化を防ぐには、適切な防御が基本となる一方、喫煙や大気汚染による影響を避けることは、生活上なかなか難しい問題である。

皮膚の保湿メカニズム [平尾 哲二 先生]

皮膚の最外層に位置する角層は、バリア機能という生物学的に重要な役割を果たしつつ、自ら水分を保ちしなやかさを維持する保湿機能を担っています。しかし、保湿機能が低下するとシワの形成が助長されてしまいます。本セミナーでは、皮膚が生来持っている保湿メカニズムについて、またスキンケアによる保湿機能の向上について、最近の知見も含めて紹介し、シワの改善アプローチのヒントを考察します。

シワ形成のバイオメカニクス [松本 健郎 先生]

バイオメカニクスは、力や変形など力学的視点から生物を観察・解析する学問分野です。この立場から眺めると、シワは皮膚の長さや張力を一定に保つメカニズムが衰えることにより生じたとも考えられます。また、皮膚は角層と表皮生細胞層、真皮の力学特性が大きく異なることが明らかとなっており、これがシワの発生に与える影響も考えられています。このような力とシワの関わりについて、なるべく数式を用いずに解説します。

シワとミゾの美術解剖学 [宮永 美知代 先生]

顔にできるシワやミゾにはまったく負のイメージしかないのでしょうか。表情筋運動の蓄積の結果、経時的に皮膚に固定してゆくシワとミゾについて、生体観察と美術表現の双方から探ってみます。シワとミゾにもきっとある美。シワとミゾを中心に顔の美術解剖学についてお話ししようと思います。

化粧品機能評価法ガイドラインに則ったシワ改善剤の開発 [八谷 輝 先生]

シワは、シミやたるみと並んで女性の3大悩みの一つであり、美しく歳を重ねていきたいというそのような女性の望みを叶えるため、商品を提供するメーカーへの要望は高まっているものと理解しております。本セミナーでは、2006年に作成された日本香粧品学会の化粧品機能評価法ガイドラインに則ったシワ改善剤の開発事例をまずは紹介させて頂き、続いて、シワの予防・改善における細胞外マトリックスの意義を明らかにした最近の研究事例についても触れさせて頂きます。

サンスクリーンによるシワの予防 [松江 浩二 先生]

日本香粧品学会の化粧品機能評価法検討委員会では、2006年に、サンスクリーン剤による「光老化の予防」の新規効能の取得に向け、一定条件の防御効果を示すサンスクリーン剤であれば、その効能を表記すべきという提言を発表しました。この新効能はまだ認められておらず、検討継続中となっていますが、将来的な新効能の認可を信じつつ、本講演ではその後の動向や知見を踏まえ、シワを予防するサンスクリーンについて考えてみたいと思います。

抗老化素材のレビュー [正木 仁 先生]

昨年、「乾燥による小じわの改善」という新規化粧品効能効果が承認されてから、小じわケア製品の市場に活気づいた感があります。今回の公演では抗老化素材のレビューと題して、老化、特に「しわ」に焦点を絞った素材研究の内容を、現在の老化の基礎研究との関連性を踏まえながら紹介します。また、「乾燥からしわ」へのプロセスと改善のアプローチについても提案します。

美容外科的しわ治療最新情報 [征矢野 進一 先生]

美容外科的なしわの治療には、コラーゲン、ヒアルロン酸、ハイドロキシアパタイト、ボツリヌストキシンなどを用いて治療をおこなっている。マーク、麻酔、施術、結果を実際の治療画像を用いてわかりやすく解説する。どの注入材料がどんなしわに対して効果があるのか、また注意点なども同時に提示する。

参加申込方法

日本化粧品学会 第37回教育セミナー

参加申込事前予約締切：2012年10月18日（木）

学会ホームページ(<http://www.jcss.jp/>)にて

8月6日（月）よりWeb受付開始

- * 10月18日（金）以降は当日受付でお申込みください。
- * 予約申込で入金が確認された方には参加証及び要旨集を11月上旬に送付する予定です。
- * 一旦払い込まれた予約参加費は払い戻しできませんのでご注意ください。

連絡先：

日本化粧品学会 教育セミナー事務局
〒169-0075

東京都新宿区高田馬場4-4-19

(株)国際文献印刷社内

TEL. 03-5389-6496

FAX. 03-3368-2827

E-mail. jcs-semi@bunken.co.jp

■ ヤクルトホールへのアクセスマップ



- JR 新橋駅「銀座口」より徒歩3分
- 都営浅草線 新橋駅「汐留1番出口」より徒歩1分
- 新交通ゆりかもめ 新橋駅 徒歩3分
- 東京メトロ銀座線 新橋駅「2番出口」より徒歩2分
- 都営大江戸線 汐留駅 徒歩5分